

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	入浴・排泄はもちろんのこと食事作りの関わりは出来ているが、その他のアクティビティ(入居者別)が苦手な職員がいる。	BPSDの対応ではなく、中核症状にケアしていく。	①入居者9名全員の『ひもときシート』活用 ②個々の生活歴を職員間で共有する ③選択しやすい環境を整え、入居者の希望を聴く。 ④本人の訴えを聴き、中核症状(本人が理解出来る範囲)で出来ることを一緒に行なう。 ⑤本人の強み・本人の話したい話題の提供 ⑥職員のペースにならない様、全職員の理解	6ヶ月
2	42	咀嚼困難・口腔ケア不十分による食欲低下。	訪問歯科診療をお願いし、口腔ケアの大切さを職員が再認識すると共に、入居の機能維持改善に務める。	①9名の無料歯科相談②家族と相談しながら歯科診療による口腔内の改善③職員による入居者別効果的口腔ケア方法の確立	4ヶ月
3	27	チェックだけに留まらず、本人が言った言葉やケアの対応方法を記録に多く残し、より良いケアにつなげていく。	本人の気持ちに添ったケア	①全職員が自分の健康管理に気をつけ、心身共に良い状態で仕事出来るようにする。②チェック表だけに留まらず、気づき(ケアの対応方法)を記録に残す。③記録の書き方の勉強会をする。④担当入居者だけでなく全職員が支援経過表を記入しモニタリングにつなげていく。	6ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。